

12月16日：今週のベトナム株は上昇か

好調なマクロ経済の情報によって、ベトナム株は上昇が期待される。VN 指数は 1,070 ポイントの抵抗線を試すだろう。

ホーチミン取引所の VN 指数は金曜日に 0.27% 安の 1,052.48 ポイントで取引を終えた。先週、一週間では 0.06% 高となった。

週平均の出来高は 8.2 億株で、売買代金は 14.2 兆ドンであった。

VN ダイレクト証券の Ding Wuan Hinh 氏によると、ベトナム国家銀行の信用枠拡大、社債に関する規制の修正案などのマクロ経済の情報が相場を支え、指数は上昇が期待される。

Hinh 氏は VN 指数が 1,070 ポイントの抵抗線を試すと予想する。上抜け出来れば、1,100 ポイントに向かう展開となるだろうと予想した。

ベトコムバンク証券の分析では、もう少し警戒感の強い予想となっている。

テクニカル的には、VN 指数は 1,050 ポイントを固めようとしている。買い需要は戻っておらず、上昇トレンドに回復するにはもう少し時間が必要である。売り需要が高まったとしても、1,030 ポイントが下値のめどになると同社は予想した。

ロンベト証券によると、相場は明確なトレンドが無い。そのため、投資家は需給を良く見極めなければならない、上昇した時には利益確定を検討し、ポートフォリオのリスクを減らすべきだと述べた。買いについては、ファンダメンタルズが良く、調整をしている銘柄を検討すべきだ。

指数は、抵抗帯では上昇が止まっており、売り圧力が強いことを示している。しかしながら、相場は揉みあいの展開であり、今後のトレンドが明確になるまで横ばいがつづくだろうと同社は予想した。

SSC の Vu Thi Chan Phuong 氏は、困難はあるが、ベトナム証券市場には多くの機会があると述べた。

Phuong氏によると、2022年のベトナム株は大きく変動した。4月から下落トレンドが始まったが、5月、8月、11月には反発する場面も見られている。

11月30日時点では、VN指数は1,048.42ポイントに達し、2021年の年末と比べて30%ほど下落した。この間、出来高も減少し続けていた。4月の平均売買代金が26.3兆ドンに対し、11月は13兆ドンであった。

年初来11か月の平均売買代金は20.6兆ドンとなり、2021年の平均から22.7%減少した。

Phuon氏は、下落の主な要因は世界経済と政治の不安定さが投資家心理を悪化させたことだと分析した。

一方、SSCは2023年に向けてポジティブな点も挙げた。

米国でインフレ率の鈍化の傾向が見られ、FRBは急激な利上げを和らげている。ベトナムドンへの圧力も減少しており、ベトナム経済と株式市場にポジティブに働くだらう。

その他、多くの国際機関がベトナムの経済成長を高評価しており、見通しも明るい。IMFは2022年のベトナムのGDP成長率はASEANで最も高い7%に達し、2023年も6.2%を予想している。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。